

# 〜おおいしだめとんとむがすあつたけど⑥〜

## かわまえ ろくじぞう 川前の六地藏

昔、小平から川前に行く途中、崖の所を、ずんつあとはんつあがへらへらとしゃぐすで掘ったという所に六地藏があつたんだ。

ある年の寒い日、雪降ると町までいがんなくなさげ、小平のずんつあ、正月の米買いに出かけたんだけど。川前まで来たたら、六地藏さま、いつものように立っついで冷たい雨風に当たつて寒そうにしていだんど。それ見たずんつあ、気の毒になつてなあ。町まで行つたげんとん、結局米買わねで、笠買つて来たんだ。町で笠五つ買つたで、銭なくなつてしまつてなあ。五つしか買わなえけど。ほうして、帰りに六地藏さまに笠を二つかぶせていったんだ。やつぱりつたんなくなつて、自分の腰さ下げた手ぬぐいは、地藏さまにほかむりにかぶせて来たんだ。

家さ帰つてきて、今日のごと、ばんつあ話して聞かせたら、ばんつあ「はい、いいことしたなあ。」つて言つて、

「今夜は、醤油たらした湯でも、味噌とがした湯でも飲んで、寝つて、その夜は早く寝てしまつたんだ。

夜中、寝たたらは、なにやら遠くの方がら、にんぎやがな音が聞こえてきたんだ。ずんつあとはんつあ、最初、何だべと不思議に思つていたら、おの音だんだん大つげなつてきて、おつかなくなつてきたんだ。目ぎつづくして、布団かぶつていだれば、

「ずんつあな家はどごだべな。ばんつあな家はどごだべな。」つて歌いながら、ずんずん近くなつてくるんだ。ずんつあとはんつあは、おつかなくて、おつかなくて、ぶるぶるふるえていだんだ。

「この夜よ中、何事だべ、誰だべ。」

「おら家さ来たな、んねが。」

床から起きて外さ出はて、わらわら家のかけさ隠つていだんだ。したれば、何がかついだり、背負つたりした人だ来て、

「ごた、ごた。」

ドダツて大つけな音させで、家の前さ、何か置いていったんだ。

しばらくして音もしなくなつたので、ずんつあとはんつあ、おそるおそる出でつてみつど、ほかむりした地藏さま先になつて、笠かぶつた地藏さま達後になつて、帰つていくところだつけど。家の前、見みつど、たまげた、たまげた、米俵やら銭やら、たんと置いてあつたんだ。おかげで、ずんつあとはんつあ、それからは裕福に、いい暮らし出来たんだ。

その話聞いだ隣の欲たがりずさま、むりやり地藏さま笠かぶせたり、汚つた手ぬぐいかぶせたりして、まねごしたげんとん、うまくいがねけど。やつぱす、欲たがて人のまねごしても、だめなもんた。

どんびんすかんこねえつけど。

○出典「大石田のとんとむがす」

(大石田のとんとむがすの会編集・発行、二〇一九年、町立図書館蔵)



貧しくとも欲をもたない優しいじいさまのもとに、地藏さまが福をもたらす「笠地藏」のお話が大石田にもあります。年越しの夜に神様がやつてくる信仰に由来する話で、地藏さまが歌いながら連なつてやつてくる様子はなんとも賑やかです。

雪の日の雨風の冷たさや地藏さまが雪を踏みしめる音など冬の様子が描かれた、雪深い山形に馴染み深いお話です。

町の人口 令和元年 12月1日現在		
世帯数	2,340 戸	(±0)
総人口	6,951 人	(-8)
男	3,416 人	(-4)
女	3,535 人	(-4)
(11月中の異動)		
出生	2 人	転入 15 人
死亡	8 人	転出 17 人

※この数字は外国人数も含めた数字です。

### 楽がき帳

映画「コンプリシティ／優しい共犯」は1月公開ですが、実はすでに2度観ています。監督へのインタビューにあつて事前にお借りしたDVDで二度、インタビューの日に行われた試写会で、もう一度。監督の話にもありましたが、やはり最初に観たときは、インタビューの質問を考えながらということもありましたが、あの人が映っている(私も映っていました。カメラの横を通つて結構しゃかり映っています)、こはどころう、などにもどうしても気を取られました。特に注意が必要というか、エキストラばかり見してしまうのがそば屋の客席のシーンで、ほとんど役者が目に入りません。2度目に映画館で観たときに、やつとじっくり楽しむことができたと感じました。大石田の魅力がたっぷり詰まっています、たくさんの人に観てもらいたい映画です。(あ)